

## 【久御山町】

### ネットワーク整備計画

#### 1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

本町で独自に実施した「通信環境調査」（令和6年度10月）の結果では、文部科学省が推奨する帯域を超える学校数は4校であり、総学校数に占める割合は、100％である。

- ・現在の運用において、児童生徒や教員から「回線がまれに遅いときがある」という意見が月に一度程度寄せられる。

#### 2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

##### （1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

本町においては、ネットワークアセスメントを実施済み（令和6年度10月）である。また校内の学習系ネットワークでは文部科学省の推奨帯域が確保できていることを確認済みであり、課題は確認されていない。

##### （2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

現時点では、ネットワーク環境は推奨基準を満たしているものの、運用状況の変化によって課題が顕在化する可能性があるため、引き続き監視を行う。

ただ今後発生しうる課題への改善策として、アクセスポイント（以下AP）の経年劣化を踏まえて、計画的に更新していく。（中学校においては令和7年度既存APの一斉更新を予定）また、ネットワークの活用状況を見ながら、通信回線の帯域の増強を精査していく。

#### 3. ネットワークアセスメントの実施等により、すでに解決すべき課題が明らかになっている場合は、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

本町のICT支援員によるネットワークアセスメントの結果、現在利用しているAPの経年劣化や配置場所、今後のネットワーク構想について継続して経過を観察し対応していく必要がある。

将来的に、デジタル教科書や動画を活用した授業、双方向での学習を積極的に活用していく授業や、他校や海外と一斉に接続することなどが増えていくのであれば、ネットワークの増強やＡＰの更新を進めていくことになる。

<増強案>

- ・学校からインターネットへ出て行く回線について、契約を見直しバージョンアップする。
- ・現在の回線会社と別の会社と契約し、ルーターを間に入れて増強する。

令和7年6月・8月 通信環境調査（以降毎年実施）

通信回線の増減速の精査（以降毎年実施）